

2024-12-1
No.1107 500円

思想運動

本紙合評会での総選挙をめぐる討論	1~3面
韓国OP労組の連続集中行動	4面
核のゴミめぐる北海道豊富町からの通信	6面
十月革命107周年記念集会開く	7面
ディアス・カネルへのインタビュー	10~11面
書評—慎蒼宇著『朝鮮植民地戦争』	14面
ある友情—野見山暁治と椎名其二	15面

日東電工は韓国オプティカルハイテック労組7人の雇用を保障しろ！
 火災で焼け残った社屋の屋上で高空籠城をつづける2人の組合員。12月1日で高空籠城328日を迎える。(写真は2024年2月26日撮影、出典：民主労総機関紙「労働と世界」ホームページより。関連記事4面)



本紙合評会で総選挙をめぐる情勢を論議

与党過半数割れと今後の課題 状況を切り拓くのは大衆闘争の強化だけだ

11月11日に本紙11月号の合評会を開催し、その時間の一部を割いて10月27日に実施された衆議院選挙の結果をめぐる意見交換を行った。合評会には、11月1日号に明文改憲の問題を執筆した「戦争させない横浜市民ネットワーク」の高梨寛裕さんにも参加していた。冒頭の発言もお願いした。以下はその討議をまとめたものである。意見交換での発言者は、井野茂雄、広野省三、逢坂秀人、藤原晃、伊藤龍哉、大村成一の各氏。司会は本紙編集部編集長が担当した。

稲垣 承知のとおり、10月 改憲派の国民民主(以下、国 張はまったくなし。 27日に行なわれた衆議院選挙 民と表記)や極右(参政党 保守党)の伸張、立憲では野 では、15年ぶりに与党の議席 田の右派指導部(日米同盟と が過半数を割る結果となっ た。また改憲派の議席も明文 その抑止力肯定、安保法制廃 改憲に必要な3分の2を下回 上棚上げ等の立場)が確立 った。長年続いてきた「国民 共産、社民の後退。 一強」あるいは「一強多弱」 実質改憲の動き(日米軍事同 といわれる構造が崩れた。与 盟の強化と並行する大軍拡 権的な国会運営ができなくな った。明文化改憲について ても油断できない。

2 選挙結果(各党の得票数 変化)の分析
 自公の後退/立憲、国民の伸 張/共産、社民の後退/れい わの伸張/極右の伸張。 投票率は戦後3番目の低さ。 こうした状況を生んだものは 何か?個々の政党の得票数の 変動などに即した分析と全体 的な傾向の把握。

3 野党共闘はどうだったの か。これからどうするのか。
 4 トランプ政権誕生の影響 は中国包囲戦略の強化、 「自分の国は自分で守れ」庄 力、「安保自己負担」増大、 武器の爆買の強要などで、 軍拡はいつそう進むのではな いか。

5 左派政党の選挙総括の問 題点。SNSの活用はいわれ ながら、大衆運動を強化して組 織の足腰を根本から鍛え直す という原則的な総括はない。 資本主義の不合理性、社会主 義的変革の正当性を訴える主 張が求められている。

合、れいわ2区候補者には、い。 ↓戦争させない横浜市民ネット

口頭で「自衛隊明記・緊急政 令」改憲問題への取り組みに ついての旗振りを要請。

・かながわ市民連絡会(県内 在の構成：1区、2区、3 18選挙区)この市民連合の連 絡組織の事務局が10月中旬 念)。

↓残されている課題：県央 (大和・厚木・相模原)や県 西部(藤沢など)の市民団体 との連携。

①大衆運動の組織化(「点か ら面へ」地域の運動掘り起 し)。

②市民団体・労働団体との共 同行動の追求：神奈川平和運 動センターや神奈川人権セン ターとの連携(共催や後援・ 賛同)など。

③立憲・共産・社民・れい わ・新社会の県組織の共闘・ 連携の協議テーブルづくりの 要請と所属議員の県下共同行 動への参加働きかけ。

住民への周知なしに キーンソード25強行
 わたしたちは把握していなかつたが、日米合同軍事演習「キーンソード25」の一環で、10月17日には、横浜ノースドックに大分県から200名の陸自隊員と車両70両が運ばれてきて陸揚げされた。神奈川には米軍基地だけでなく多くの自衛隊の基地があり、それらすべての基地で、地上作戦や航空作戦などの訓練が実施された。そのことを周知したのは神奈川では座間市だけで、神奈川県も横浜市もまったく情報も流さなかった。これはおかしいと、わたしたちは今月14日に県と横浜市に周知を徹底するよう要請するた めの会議を行なう。

『神奈川新聞』もまったく流 さなかった。『産経』は18日、『東京』が2日遅れてノースドックに陸自部隊が来たこと を伝え、かなり経ってから『日経』が、今回の訓練は米 (2面17~18)

・選挙では、改憲、対米自 立、原発、消費税などが焦点 にならずとも問われるべき だった。わたしたちがこれら の課題をどれだけ押し出しえ たかが問われている。たと えはあとで触れるが、選挙期 間と同じ時期、日本全国の米 軍と自衛隊基地を使って大規 模な日米合同軍事演習「キ ーンソード25」(自衛隊3万3 000人、米軍1万2000 人が参加)が強行されたが、 この危険な動きを選挙戦で問 題にしたところはなかった。

神奈川の平和運動の 実践に即して
 高梨 わたしが事務局を務め る神奈川2区市民連絡会では さっそく選挙の翌日に総選挙 結果についての意見交換を行 なった。以下はその要約。

①「自公過半数割れ」の評価 だけでいいのか
 ・改憲派が3分の2を割った といっても、改憲派と反改憲 派の議員構成はあまり変わっ ていない。あと10名くらい増 えれば3分の2(310)に達 する。楽観できない。

②次に神奈川2区市民連絡会 が選挙にむけて行なった活動 を紹介する。

・リーフレット(「自公政権 を終わりにして」)の作成と 配布(配布7月~10月の定 例街宣)。

・2区としての選挙政策の議 論と取りまとめ(7月~8月 の事務局・運営委員会)。

・立憲野党への緊急申し入れ (8月) ↓「自公政権を終わ らせ政権交代に向けた立憲野 党間協議のテーブルの設置に ついて」：立憲・共産・社 民・れいわ・新社の中央・県 組織で。

申し入れ4点 ↓①大同団結に 止るべき政策、②野党間協 議のテーブル設定についての 考え方、③新政権がすぐ実施 する当面の政策、④野党統一 候補についての考え方。

・共産党県委員会と社民県連